

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	環境保全型農業直接支援対策事業補助金		
担当所属	農業振興課	連絡先	092-332-2087

【事務事業基本情報】

区分	⑥国県制度事業補助		
該当規等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律 環境保全型農業直接支払交付金実施要綱 環境保全型農業直接支払交付金実施要領		
基本目標	基本目標7 地域資源を生かした産業創出のまちづくり		
政策	政策1 農林水産業の振興		
施策	施策② 農業における持続的な担い手を育成する		
補助期間	令和元年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】</p> <p>化学肥料・農薬の低減に加え、農業分野において地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者で組織する団体への直接支援により、温暖化防止や生物の生育環境保全の促進を図る。</p> <p>【対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学合成農薬の5割低減 カバークロープ（緑被）の作付 堆肥の施用 有機農業の取組 <p>【対象者】</p> <p>地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動に取り組む農業者で組織する団体</p>	<p>① 取組面積（令和2年度）</p>

【改革案】

今後の実施方向性	現状維持
<p>環境保全型農業直接支払事業にはGAPに対する正確な知識と実践が必要となり、環境保全以外にも農産物の安心安全の配慮等が求められる。要件は厳しくなるが、環境問題や食の安全に対する国民の関心が高まる中、環境保全活動等を推進する必要がある。</p>	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① ha	66.95	55.00

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	4,621,600	8,000,000

【環境変化等】

<p>開始時の周辺環境・課題</p> <p>環境問題に対する国民の関心が高まる中で、農業分野でも地球温暖化や生物多様性保全等に効果の高い営農活動の取組みを普及・推進する必要がある。 また、減農薬・減化学肥料等、消費者から農産物の安全・安心が求められている。</p>
<p>現状の周辺環境・課題</p> <p>現在5団体が継続して、事業に取り組んでいる。</p>
<p>今後の予想される周辺環境・課題</p> <p>R2年度から第2期対策となり、有機農業の水準が引き上げられた。使用禁止資材の飛散防止措置や流入防止措置を講じる必要があり、また、これまでなかった現地確認が実施されることになり、より環境保全効果の高い取組みが求められることになる。</p>
<p>市民及び議会等の意向・ニーズの変化等</p> <p>消費者からは、安全・安心な農産物が求められている。農業者には環境保全効果の高い取組みが求められることになった。</p>